



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

平成30度高幡地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）について

高幡地域本部

平成30年2月8日（木）

地域アクションプランの動向

H29年度 241 → H30年度 236 (▲5)

地 域	H29年度 (第3期ver.2)	H30年度 (第3期ver.3)				
	AP数 H29.9.19時点	追 加	削 除	統 合	小 計	AP数
安 芸	32	0	0	(2→1) ▲ 1	▲ 1	31
物部川	27	0	▲ 1	0	▲ 1	26
高知市	30	0	0	0	0	30
嶺 北	23	1	0	0	1	24
仁淀川	38	0	▲ 1	0	▲ 1	37
高 幡	43	0	▲ 2	0	▲ 2	41
幡 多	48	1	▲ 2	0	▲ 1	47
合 計	241	2	▲ 6	▲ 1	▲ 5	236

※ 削除6件のうち、自立:2件
産業成長戦略として実施:2件

高幡地域アクションプラン項目（第3期計画ver.2（H29年度）と

No.	平成29年度	須崎市	中土佐町	梶原町	津野町	四万十町
		11	12	8	9	15
1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上	●	●		●	
2	JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化	●	●		●	
3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化		●			●
4	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立			●	●	
5	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大	●				
6	大野見米のブランド化		●			
7	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大			●		
8	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化			●		
9	つの茶販売戦略				●	
10	みどり市を核とした「地消地産」の推進					●
11	四万十の栗再生プロジェクト					●
12	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり					●
13	地域資源活用推進と加工場等の整備					●
14	四万十町畑作振興プロジェクト					●
15	四万十のうまい豚プロジェクト					●
16	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進		●			●
17	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進			●	●	
18	県産竹材を活用した加工品づくりのための竹材の安定供給	●				
19	四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出		●			
20	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用			●		
21	津野町森林・林業再生プロジェクト				●	
22	美味しい！須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト	●				
23	野見湾産養殖カンパチの販路拡大	●				
24	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大	●				
25	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化	●				
26	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進		●			
27	大正町市場商店街活性化事業		●			
28	中土佐町SEAプロジェクト		●			
29	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト		●			
30	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進			●		
31	津野町地産地消・外商販売戦略				●	
32	四万十町拠点ビジネス体制の強化					●
33	高幡地域における広域観光の推進	●	●	●	●	●
34	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化	●				
35	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備	●				
36	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進		●			
37	梶原町の体験型・滞在型観光の推進			●		
38	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～				●	
39	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり					●
40	四万十町観光交流促進事業					●
41	四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組					●
42	しまんと時間満喫プロジェクト					●
43	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大					●

①削除

②削除

第3期計画Ver.3 (H30年度) の対比表)

【高幡地域】

須 崎 市	中 土 佐 町	梶 原 町	津 野 町	四 万 十 町	No.	平成30年度
	●		●		1	地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上
	●		●		2	JA土佐くろしおが担う地域農業の活性化
	●			●	3	基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化
		●	●		4	中山間地域での持続可能な農林業経営の確立
●					5	葉にんにくを活用した加工食品の生産・販売の拡大
	●				6	大野見米のブランド化
		●			7	梶原産キジ肉の生産・販売の拡大
		●			8	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化
			●		9	つの茶販売戦略
				●	10	みどり市を核とした「地消地産」の推進
				●	11	四万十の栗再生プロジェクト
				●	12	滞在型市民農園等を活用した四万十町の移住を受け入れやすい風土づくり
				●	13	地域資源活用推進と加工場等の整備
				●	14	四万十町畑作振興プロジェクト
				●	15	四万十のうまい豚プロジェクト
→				●	16	四万十町産鶏卵を使用した加工品の生産拡大
	●			●	17	「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進
		●	●		18	「1億円産業の復活」をスローガンとする津野山産原木シイタケの産地化の推進
●					19	県産竹材を活用した加工品づくりのための竹材の安定供給
	●				20	四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出
		●			21	循環型社会の構築を促進するための森林資源の有効活用
			●		22	津野町森林・林業再生プロジェクト
●					23	美味しい！須崎の魚(いお)消費拡大プロジェクト
●					24	野見湾産養殖カンパチの販路拡大
●					25	浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大
●					26	楠木鮮魚一を活用した南地区の活性化
	●				27	中土佐町地域ブランドの創出と販売促進
	●				28	大正町市場商店街活性化事業
	●				29	中土佐町SEAプロジェクト
	●				30	「中土佐のうまいもん食わしちやお」商品開発プロジェクト
		●			31	梶原町地場産品の地産地消・外商の促進
			●		32	津野町地産地消・外商販売戦略
				●	33	四万十町拠点ビジネス体制の強化
●	●	●	●	●	34	高幡地域における広域観光の推進
●					35	須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化
●					36	須崎市の教育旅行や団体旅行の誘致に向けた体制の整備
	●				37	中土佐町の地域資源を活用した体験型・滞在型観光の推進
		●			38	梶原町の体験型・滞在型観光の推進
拡充			●		39	清流と風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～
				●	40	わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり
				●	41	四万十町観光交流促進事業

高幡地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■追加 なし

■削除

NO.	アクションプラン名	削除する理由
1	No. 41 四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組（四万十町） 【事業主体】（株）デベロップ大正、四万十町商工会大正支所、四万十町	採算性等により、拠点施設の整備を断念することとなり、また、あわせて事業主体である「(株)デベロップ大正」が解散するなど、計画していた事業展開が見込まれないことから、地域アクションプランから削除する。
2	No. 42 しまんと時間満喫プロジェクト（四万十町） 【実施主体】（株）生田組	四万十ならではの食と癒しの時間を提供できる宿泊施設を整備し、観光振興及び地域経済の活性化に繋げることを目的に協議調整を進めてきた。 しかし、地域食材の提供など、当初計画していた地域と連携した事業展開が見込まれないことから、地域アクションプランから削除する。

■その他(拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	No. 38 清流の風と歴史に会えるまち津野町まるごと体感！～観光集客アップ作戦～ 【事業主体】津野町	【拡充】主な内容に、津野町の観光施策策定及び観光基盤の整備の取り組みを追加し、天狗高原・四万十川源流点を拠点とする津野町観光施策の策定や観光拠点施設の整備等を進めていく。

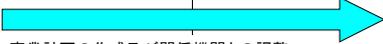
削除項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
41 四万十町大正地区の地域経済活性化の核となる事業への取組 《四万十町》	拠点施設を整備し、海洋堂ホビー館や海洋堂かっぱ館、奥四万十自然体験村構想等の地域資源を活用することで、通過型から滞在型観光へのシフトを図り、観光分野を産業として構築、四万十町の経済波及効果に繋げていく。	・(株)デベロップ大正 ・四万十町商工会 ・大正支所 ・四万十町	<p>アクションプランの取組開始:H24 ・ステップアップ事業の導入による収益調査等の実施(H24)</p> <p>・商工会地域広域振興対策推進事業調査(H24) ◆プラモ館を核施設として設置した場合の事業収支シミュレーションができた。</p> <p>・大正まちなかにぎわい交流拠点構想策定業務委託事業(H28) プラモ館事業を再調査した結果、プラモ館・焼酎バー・スイーツショップの3種が連携したビジネスモデルが提案された。</p> <p>・商店街にぎわい事業調査研究事業の実施(H25) ◆大正商店街活性化推進協議会を設置し、地域活性化に資する各事業の中核的な推進体制を組織化するとともに、個別テーマごとに分科会を設置し、実践活動を展開するための体制が整備された。</p> <p>・産業振興アドバイザーの導入(H25) 商店街及び周辺地域の地域資源の活用や連携方を検討し、取組の基本的視点を確認を行った。</p> <p>・大正商店街活性化推進協議会の各分科会活動と拠点施設整備に向けた活動の推進(H25～26) ◆地元特産品として塩麴の開発・販売、各種イベントへの協力、「大正まちなかギャラリー」などの分科会活動、拠点施設整備への気運が醸成された。</p> <p>・コーディネート機能の充実(H26～28) ◆地域おこし協力隊が着任し、大正商店街活性化協議会とともにJR土佐大正駅前のにぎわい拠点が整備されたことで、来訪者の案内・ニーズ把握、地域資源の紹介が可能になった。</p>	<p>・事務局体制づくりとコーディネーターの育成</p> <p>・地元住民の主体的な参画</p> <p>・地域資源との連携</p>	<p>◆事業計画の作成及び関係機関との調整</p> <p>◆拠点施設の整備及び商店街活性化事業の運営</p> <p>◆商品開発及び販路開拓</p>



削除

第3期計画				H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)
 事業計画の作成及び関係機関との調整 収益調査の実施と調査結果をふまえた事業計画の作成						
 拠点施設の整備及び商店街活性化事業の運営 商店街活性化事業の計画策定 施設整備計画、施設整備、施設運営 体制づくりと人材育成						
 商品開発及び販路開拓 地域資源の掘り起こし及び地域との連携強化 商品開発、宣伝(HP等宣伝ツールの作成)、販路開拓						

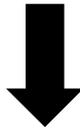


削除

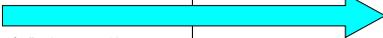
削除項目(案)

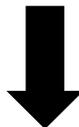
【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
42 しまんと時間満喫プロジェクト 《四万十町》	四万十ならではの食と癒しの時間を提供できる宿泊施設を建設し、町内にある魅力あふれる観光素材と合わせて、通過型から滞在型観光へと人の流れをつくることで四万十町の地域経済活性化に繋げていく。	・(株)生田組	アクションプランの取組開始:H26 ・事業計画の作成(H25~26) ・収益調査の実施(H25) ・ホテル基本設計の実施(H26)	・関係機関との協議調整	◆事業計画の再検討 ◆宿泊施設の整備 ◆商品開発及び販路開拓



削除

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
 事業計画の再検討 収益調査の実施、事業計画作成、関係機関との調整		 宿泊施設の整備 ホテル建設 運営開始 体制づくりと人材育成				
		 商品開発及び販路開拓 地域資源の掘り起こし、地域との調整 商品開発(観光・体験メニュー等)、宣伝(HP等ツールの作成)				



削除

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
38 清流と風と歴史に会える まち津野町まるごと体 感！～観光集客アップ作 戦～ 《津野町》 修正前	四国カルスト天狗高原や四 万十川源流点、風の里公園、 セラビーロードなどを中心とし た津野町の観光スポットと歴史 や伝統文化、地域の食など 津野町をまるごとPRし、年間 を通じて多くの観光客の集 客を図る。	・津野町	アクションプラン取組開始:H21 -「ふる」活用ビジネス事業・観光交 流ネットワークビジネス(H21～23) ◆案内板の整備や、観光図鑑の作 成などを行い、予約時の町内の宿 の連携と来てくださった方へのおも てなし力の向上や、観光ガイドの育 成に取り組み、目標であった、年間 宿泊数9,000人超を維持することが できた。 ・全国源流サミットの開催(H24) ◆参加者569人 ・観光情報の発信(H24～28) ◆県内外へのテレビ、ラジオ、雑誌 等の情報発信により、中四国をはじ めとする県外からの観光客が増加 した。 ・2016奥四万十博開催(H28) ◆地域の団体等で構成した津野町 奥四万十博実行委員会を設置し、 地域の団体等がさまざまなイベン トや体験プログラムに取り組み、地域 の認知度の向上につながった。ま た、PR効果により天狗荘の宿泊者 数、入込数ともに増加した。	・観光ガイドの養成と、全 体のスキルアップ ・県外への情報発信の強 化 ・雨散期の集客	◆受入体制の整備 ◆観光商品の造成・磨 き上げ及び情報発信の 強化



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
39 清流と風と歴史に会える まち津野町まるごと体 感！～観光集客アップ作 戦～ 《津野町》 修正後	四国カルスト天狗高原や四 万十川源流点、風の里公園、 セラビーロードなどを中心とし た津野町の観光スポットと歴史 や伝統文化、地域の食など 津野町をまるごとPRし、年間 を通じて多くの観光客の集 客を図る。	・津野町	アクションプラン取組開始:H21 -「ふる」活用ビジネス事業・観光交 流ネットワークビジネス(H21～23) ◆案内板の整備や、観光図鑑の作 成などを行い、予約時の町内の宿 の連携と来てくださった方へのおも てなし力の向上や、観光ガイドの育 成に取り組み、目標であった、年間 宿泊数9,000人超を維持することが できた。 ・全国源流サミットの開催(H24) ◆参加者569人 ・観光情報の発信(H24～28) ◆県内外へのテレビ、ラジオ、雑誌 等の情報発信により、中四国をはじ めとする県外からの観光客が増加 した。 ・2016奥四万十博開催(H28) ◆地域の団体等で構成した津野町 奥四万十博実行委員会を設置し、 地域の団体等がさまざまなイベン トや体験プログラムに取り組み、地域 の認知度の向上につながった。ま た、PR効果により天狗荘の宿泊者 数、入込数ともに増加した。 -天狗高原・四万十川源流点活性 化プロジェクト協議会発足(H29) -津野町観光の基本コンセプト策定 (H29)	・観光ガイドの養成と、全 体のスキルアップ ・県外への情報発信の強 化 ・雨散期の集客 -拠点施設の整備	◆受入体制の整備 ◆観光商品の造成・磨 き上げ及び情報発信の 強化 ◆津野町の観光施策 策定及び観光基盤の 整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
受入体制の整備					→	主要宿泊施設年間宿泊数 (H19:8,925人) (H22:9,616人) (H26:8,114人)	10,710人
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドの育成・スキルアップ ・観光スポットの整備(案内板を含む) ・イベントの企画・開催 							
観光商品の造成・磨き上げ及び情報発信の強化					→		
<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの充実、モデルコースの設定 ・メディアへの情報発信 ・観光拠点施設の整備 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
受入体制の整備					→	主要宿泊施設年間宿泊数 (H19:8,925人) (H22:9,616人) (H26:8,114人)	10,710人
<ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイド・セラピーガイドの育成・スキルアップ ・観光スポットの整備(案内板を含む) ・イベントの企画・開催 							
観光商品の造成・磨き上げ及び情報発信の強化					→		
<ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの充実、モデルコースの設定 ・メディアへの情報発信 							
津野町の観光施策策定及び観光基盤の整備					→		
<ul style="list-style-type: none"> ・天狗高原・四万十川源流点活性化プロジェクト協議会による検討 ・アドバイザーの活用、観光施策の計画策定 ・資源の洗い出し及び磨き上げ ・観光拠点施設の整備 							

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化 《中土佐町、四万十町》	農業の基幹品目及び推進品目等の維持発展のために、農業者と関係機関が一体となって、収量・品質の向上、経営改善、環境制御技術の推進、販売促進などに取り組む。	JA四万十	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び教え合う場(H21~28) ◆みょうがなど基幹品目の販売額増加、新規就農者の確保や園芸用ハウス整備事業等による施設整備など、産地の維持・発展が図られ、地域農業の活性化に繋がった。さらには新技術導入による収量向上や雇用、担い手対策など産地課題の解決に向けた取組が図られ始めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の向上による収量・品質の向上(H21~28) ◆目標収量達成農家率 H28園年度:みょうが15%、にら45%、ショウガ33%、ピーマン38% <ul style="list-style-type: none"> ・環境制御技術の現地実証(H25~28) ◆H25園芸年度から実証を開始し、収量増の品目が認められた。さらにはLED電照栽培や炭酸ガス施用技術の導入農家も増加し、10a当たり収量も増加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の推進(H21~28) ◆JA部会でのエコシステム認証出荷を開始(H21はみょうが、ピーマン、キュウリ、H22には露地しょうがを追加)。新しい天敵昆虫リモニカスカブリダニの効果が認められた。 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保(H21~28) ◆関係機関と連携した取組により163名の新規就農者を確保できた。 H21:19人、H22:9人、H23:11人、H24:9人、H25:20人、H26:30人、H27:21人、H28:44人 <ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保(H28) しょうが収穫作業の労働力確保及び機械化に関するアンケートを実施し、関係機関と今後の方針について協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産出荷指標の達成に向けた計画生産の実施 ・ニらの販売額10億円に向けた生産拡大 ・環境制御技術の確立と普及 ・作業の省力化、雇用の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高品質多収生産技術の普及 ◆環境保全型農業の推進 ◆生産コスト低減対策 ◆新規就農者の育成・確保及び農家の経営安定 ◆作業労働の省力・効率化および適正な労働力の確保

修正前



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
3 基幹品目等の維持・発展による地域農業の活性化 《中土佐町、四万十町》	農業の基幹品目及び推進品目等の維持発展のために、農業者と関係機関が一体となって、収量・品質の向上、経営改善、環境制御技術の推進、販売促進などに取り組む。	JA四万十	<p>アクションプランの取組開始:H21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学び教え合う場(H21~29) ◆みょうがなど基幹品目の販売額増加、新規就農者の確保や園芸用ハウス整備事業等による施設整備など、産地の維持・発展が図られ、地域農業の活性化に繋がった。さらには新技術導入による収量向上や雇用、担い手対策など産地課題の解決に向けた取組が図られ始めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の向上による収量・品質の向上(H21~29) ◆目標収量達成農家率 H29園年度:みょうが16%、にら48%、しょうが24%、ピーマン56% <ul style="list-style-type: none"> ・環境制御技術の現地実証(H25~29) ◆H25園芸年度から実証を開始し、収量増の品目が認められた。さらにはLED電照栽培や炭酸ガス施用技術の導入農家も増加し、10a当たり収量も増加した。また、LED電照の効率的な使用方法も明らかにした。 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全型農業の推進(H21~29) ◆JA部会でのエコシステム認証出荷を開始(H21はみょうが、ピーマン、キュウリ、H22には露地しょうがを追加)。新しい天敵昆虫リモニカスカブリダニの効果が認められた。 <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保(H21~28) ◆関係機関と連携した取組により177名の新規就農者を確保できた。 H21:19人、H22:9人、H23:11人、H24:9人、H25:20人、H26:30人、H27:21人、H28年度:58人 <ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保(H28~29) しょうが収穫作業の労働力確保に向けて、高知市などで新聞折り込みチラシやSNSを用いてアルバイトを募集し、新たに20名の労働力を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産出荷指標の達成に向けた計画生産の実施 ・ニらの販売額10億円に向けた生産拡大 ・環境制御技術の確立と普及 ・作業の省力化、雇用の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆高品質多収生産技術の普及 ◆環境保全型農業の推進 ◆生産コスト低減対策 ◆新規就農者の育成・確保及び農家の経営安定 ◆作業労働の省力・効率化および適正な労働力の確保

修正後

第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					主要農産物4品目 (みょうが、にら、しょうが、ピーマン)販売額 (H26:26.7億円) (H27:25.9億円)	26.8億円
高品質多収生産技術の普及	営農アドバイザー制度を活用した収量・品質の向上					
	環境制御技術の現地実証及び導入と定着化					
環境保全型農業の推進	JA四万十版IPM技術の普及・定着					
生産コスト低減対策	重油代替暖房機、コスト低減資材の検討と導入推進					
新規就農者の育成・確保及び農家の経営安定	簿記及び生産データの有効活用による経営改善及び園芸用ハウス整備事業等を活用した施設導入と規模拡大					
作業労働の省力・効率化および適正な労働力の確保	作業の省力・効率化につながる機械等の導入促進および適正な労働力確保のための支援					



第3期計画					指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	H32以降	指標	目標値(H31)
					主要農産物4品目 (みょうが、にら、しょうが、ピーマン)販売額 (H26:26.7億円) (H27:25.9億円) (H28:27.3億円)	27.5億円
高品質多収生産技術の普及	営農アドバイザー制度を活用した収量・品質の向上					
	環境制御技術の現地実証及び導入と定着化					
環境保全型農業の推進	JA四万十版IPM技術の普及・定着					
生産コスト低減対策	重油代替暖房機、コスト低減資材の検討と導入推進					
新規就農者の育成・確保及び農家の経営安定	簿記及び生産データの有効活用による経営改善及び園芸用ハウス整備事業等を活用した施設導入と規模拡大					
作業労働の省力・効率化および適正な労働力の確保	作業の省力・効率化につながる機械等の導入促進および適正な労働力確保のための支援					

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>組織体制の強化</p> <p>組織の再編</p> <p>新規雇用</p> <p>研修生受入等</p> <p>畜舎等の整備</p> <p>畜舎建築、キャトルステーション建築</p> <p>飼育頭数の増加</p> <p>繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷</p> <p>構原町産牛肉の認知度向上</p> <p>ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会</p>					<p>出荷頭数 (H27:105頭)</p> <p>販売額 (H27:100,969千円)</p>	<p>129頭</p> <p>104,000千円</p>	

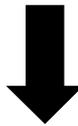


第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
<p>組織体制の強化</p> <p>組織の再編</p> <p>新規雇用</p> <p>研修生受入等</p> <p>畜舎等の整備</p> <p>畜舎建築、キャトルステーション建築</p> <p>飼育頭数の増加</p> <p>繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷</p> <p>構原町産牛肉の認知度向上</p> <p>ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会</p>					<p>出荷頭数 (H27:105頭)</p> <p>販売額 (H27:100,969千円)</p>	<p>136頭</p> <p>131,143千円</p>	

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進 《中土佐町》 修正前	スラリーアイスを活用した付加価値の高い水産物(カツオ、メジカ、ウルメ、アマダイ等)のブランド化を図り、販路を開拓するとともに、町内の他の地域産品を併せて総合的に販売促進に繋げていく。	・中土佐町 ・中土佐町地域振興公社	アクションプランの取組開始:H21 ・スラリーアイスの活用(H21~) ◆H21に鮮度保持研究施設を整備し、スラリーアイスを活用した魚価向上対策として実証実験、官能試験を実施してきた。その結果、地元漁師や協力店等から高い評価を得ており、特にカツオは、新しい保存方法を用いると48時間後でも刺身で食べることが可能との結果となり、有効性が証明された。 官能試験の協力店(県外2店、高知市内8店、町内9店) ・高鮮度ブランドとして「びんび」ブランドを立ち上げ、「びんび鯉のたたき」「びんびめじか」の販売開始(H24~28) ・スラリーアイスを活用した高鮮度の鯉のたたきを主力商品とした水産加工場の整備(H25~27) ・水産加工場において、県合併流通支援課、地産外高公社等が実施する県外シェフ等の産地見学会を積極的に受け入れ、高鮮度の鯉のたたきをPR(H27~28) ◆中土佐町のカツオの認知度が向上した。	・スラリーアイスを活用した高鮮度の魚を管理し、安定して流通させ、販路開拓を行えるシステムの確立 ・スラリーアイスを活用した高鮮度の魚の認知向上 ・水産加工場で使用する高鮮度の鯉の安定供給体制の確立 ・鯉の水揚げがない時期に販売できる加工商品の開発	◆地域物産品の販売促進活動 ◆スラリーアイスを活用した高鮮度水産物の販売ルートの開拓 ◆鯉以外の水産物を使った新商品の開発



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進 《中土佐町》 修正後	スラリーアイスを活用した付加価値の高い水産物(カツオ、メジカ、ウルメ、アマダイ等)のブランド化を図り、販路を開拓するとともに、町内の他の地域産品を併せて総合的に販売促進に繋げていく。	・中土佐町 ・(株)SEAプロジェクト	アクションプランの取組開始:H21 ・スラリーアイスの活用(H21~) ◆H21に鮮度保持研究施設を整備し、スラリーアイスを活用した魚価向上対策として実証実験、官能試験を実施してきた。その結果、地元漁師や協力店等から高い評価を得ており、特にカツオは、新しい保存方法を用いると48時間後でも刺身で食べることが可能との結果となり、有効性が証明された。 官能試験の協力店(県外2店、高知市内8店、町内9店) ・高鮮度ブランドとして「びんび」ブランドを立ち上げ、「びんび鯉のたたき」「びんびめじか」の販売開始(H24~29) ・スラリーアイスを活用した高鮮度の鯉のたたきを主力商品とした水産加工場の整備(H25~27) ・水産加工場において、県合併流通支援課、地産外高公社等が実施する県外シェフ等の産地見学会を積極的に受け入れ、高鮮度の鯉のたたきをPR(H27~28) ◆中土佐町のカツオの認知度が向上した。	・スラリーアイスを活用した高鮮度の魚を管理し、安定して流通させ、販路開拓を行えるシステムの確立 ・スラリーアイスを活用した高鮮度の魚の認知向上 ・水産加工場で使用する高鮮度の鯉の安定供給体制の確立 ・鯉の水揚げがない時期に販売できる加工商品の開発	◆地域物産品の販売促進活動 ◆スラリーアイスを活用した高鮮度水産物の販売ルートの開拓 ◆鯉以外の水産物を使った新商品の開発

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域物産品の販売促進活動					→	商品売上高 (H24:8,408千円) (H26:6,635千円)	35,987千円
地域物産品の販売先の開拓と流通販売の拡大							
スラリーアイスを活用した高鮮度水産物の販売ルートの開拓					→		
県内外への販売ルート開拓と安定した供給体制の確立							
鯉以外の水産物を使った新商品の開発					→		
町内で水揚げされる鯉以外の水産物を使った加工品等の商品開発							



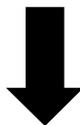
第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
地域物産品の販売促進活動					→	商品売上高 (H24:8,408千円) (H26:6,635千円)	35,987千円
地域物産品の販売先の開拓と流通販売の拡大							
スラリーアイスを活用した高鮮度水産物の販売ルートの開拓					→		
県内外への販売ルート開拓と安定した供給体制の確立							
鯉以外の水産物を使った新商品の開発					→		
町内で水揚げされる鯉以外の水産物を使った加工品等の商品開発							

修正項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
28 中土佐町SEAプロジェクト 《中土佐町》	久礼新港背後地において、中土佐町の豊かな自然や食料、伝統文化や人といった地域資源を有効に活用して、町全体の賑わいの創出につながる施設等を整備し、所得向上や雇用の創出をはじめ町全体に経済効果を波及させる。	・中土佐町	アクションプランの取組開始:H21 ・久礼新港背後地利用計画(H21～24) ◆久礼新港の背後地利用については、「まちづくり検討委員会」や関係者と賑わいの創出に繋がる施設整備に向けて協議検討するとともに、用地取得や経営計画を策定した。 ・庁内プロジェクトチームを立ち上げ、改めて実施計画を検討(H26～) ・施設を道の駅として位置付けることができるよう、関係機関と調整(H27) ・(株)SEAプロジェクト設立(H28) ・建設工事に着手(H28) ・出資法人として8社が参画(H28)	・施設の運営管理者の決定及び育成 ・計画に参画する多様なニーズを持つ関係者との調整 ・道の駅登録に向けた関係機関との内容及びスケジュール調整 ・直販商品の品質・サービスの向上に向けた研修等の実施およびメニュー開発	・道の駅施設等の整備 ・賑わいの創出への展開

修正前



【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
29 中土佐町SEAプロジェクト 《中土佐町》	久礼新港背後地において、中土佐町の豊かな自然や食料、伝統文化や人といった地域資源を有効に活用して、町全体の賑わいの創出につながる施設等を整備し、所得向上や雇用の創出をはじめ町全体に経済効果を波及させる。	・中土佐町 ・(株)SEAプロジェクト	アクションプランの取組開始:H21 ・久礼新港背後地利用計画(H21～24) ◆久礼新港の背後地利用については、「まちづくり検討委員会」や関係者と賑わいの創出に繋がる施設整備に向けて協議検討するとともに、用地取得や経営計画を策定した。 ・庁内プロジェクトチームを立ち上げ、改めて実施計画を検討(H26～) ・施設を道の駅として位置付けることができるよう、関係機関と調整(H27) ・(株)SEAプロジェクトが設立し(H28)、施設の指定管理者に決定(H29) ・建設工事(H28～29) ・出資法人として8社が参画(H28) ・産振アドバイザーの活用(H28:事業計画のブラッシュアップ、H29:メニュー開発) ・道の駅及びびみたとオアシスに登録(H29) ・道の駅なかとさオープン(H29) ◆「大正町市場」の入込客数が増加する(7～10月前年比113%)など、道の駅の集客効果が地域に波及している。(H29)	・施設の運営管理者の決定及び育成 ・計画に参画する多様なニーズを持つ関係者との調整 ・道の駅登録に向けた関係機関との内容及びスケジュール調整 ・直販商品の品質・サービスの向上に向けた研修等の実施およびメニュー開発	・道の駅施設等の整備 ・賑わいの創出への展開

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>道の駅施設等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用に関して協議、検討 運営管理者の検討及び運営体制の確立及び地元協議 運営管理者の決定 実施設計 施設整備 道の駅登録調整 						年間売上額	340,000千円
 <p>賑わいの創出への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の掘り起こし 商品開発、メニュー検討 運営方針の協議検討 							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p>道の駅施設等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の活用に関して協議、検討 運営管理者の検討及び運営体制の確立及び地元協議 運営管理者の決定 実施設計 施設整備 道の駅登録調整 						年間売上額 (H28:0円)	340,000千円
 <p>賑わいの創出への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源の掘り起こし 商品開発、メニュー検討 運営方針の協議検討 							